

# 連載：移住者訪問①

議会です  
みんなには

平成32年の目標人口60000人達成に向け、9月定例会では、空き家改修補助金や移住お試し住宅整備などの関連補正予算を成立させました。議会だよりでは、移住を希望されている人に役立つことを願い、今号から町外からの移住者（1・Uターン）の取材記事を連載します。



よしたろう 田舎暮らしを楽しむ 吉田 由太郎さん(66)  
康子さん(65)  
17区2(ハケ窪)

今回は、9年前に17区2に移住された吉田さんご夫婦を訪問しました。由太郎さんは、高校卒業後、大阪の会社に就職し、転勤の多い技術サービスの仕事を任されたそうです。同じ会社に勤務していた大阪出身の康子さんと結婚後は、3人の子どもにも恵まれ、転勤先の宮崎県に持ち家を構え、幸せに暮らしていたとのこと。

**決断**  
しかし、子どもたちが社会に出ると、ふるさとのご両親のことや今後の人生を考えると、57歳で退職を断り、家は処分して奥さんと一緒にふるさと越知町に帰って来られました。

**介護**  
移住の1年前には、同級生のご主人に依頼して家を新築し、ご両親と4人の楽しい暮らしが続いていました。しかし、昨年10月に元氣だったお父さんが急逝され、今は康子さんが87歳のお母さんを介護しながら、3人での生活となりました。

**田舎暮らしを楽しむ**  
大阪育ちの康子さんは町内に友達がおらず、初めは大変だったようですが、由太郎さんと一緒に畑に出て農作業をするうちに田舎暮らしにも慣れ、今では白芽イモ、サンショウ、ワラビ、ダイズ、アズキを栽培、今年は二人でダイダイを40本も植えたそうです。由太郎さんは、同級生に勧められたゴルフを通して友達が増え、康子さんはインターネットで料理の研究や自家製のみそを作るなど、ご夫婦で田舎暮らしを楽しんでおられます。

**編集後記**  
今号は、改選後初めての発行になります。編集委員も交代し、今後4年間委員長をお受けすることになりましたので、よろしくお願ひ致します。これまで、委員全員と事務局が協力して、読者の皆さんに読みやすい紙面作りを心がけた結果、連続表彰されるまでになった議会だよりです。今後も、その質を落とさないよう初心に帰って編集を心がけ、議会だよりを通して、住民参加のまちづくりを進めていきたいと考えております。また、今号から広域議会の記事を充実させ、取材記事は、移住者へのインタビューを連載することにしました。お気づきの点やご意見をお寄せいただければ幸いです。《武智》

**議会を傍聴しませんか**  
9月定例会の傍聴者は延べ5人でした。次の定例会は12月です。大勢の傍聴をお待ちしています。

# おち町

議会だより OCHI TOWN

No.110  
2014 (H26) 11/1  
高知県越知町議会

## 9月定例会

平成26年度一般会計補正予算2億4006万円

- 3P 災害復旧・道路整備など
- 6P 財源は有効に使ったか(決算審議)
- 10P 学校給食共同調理場(仮称)建築工事契約  
5人が一般質問
- 12P 防災、定住、学力向上などを問う

# ピックアップ

一般会計補正2億4006万円

地域優良賃貸住宅（フォレストタウンおち）管理条例可決

9月定例会は、12日から18日まで開き、平成26年度一般会計補正予算など18件を可決。平成25年度各会計決算11件を認定しました。

また、議員提案の「手話言語法制定を求める意見書」など6件〔11面に関連記事〕を可決し、一般質問〔12面から〕は5人が防災対策・定住や教育などの町政課題について執行部をたどしました。

黒石・片岡小、明治中本年度閉校〔10面に関連記事〕

明治地区3校閉校実行委員会補助金200万円



山の中腹に位置する黒石小学校、普段は林の中でひっそりとしている。



片岡集落の中心にある片岡小学校、体育館では毎週土曜日にきたえんぼう体操が行われている。



10月には恒例の明治地区ぐるみ運動会が行われている明治中学校。

平成26年度9月補正予算

会計名	補正額	総額	賛否
一般会計	2億4006万円	48億940万円	賛成全員
簡易水道事業特別会計	216万円	1億5115万円	賛成全員
国民健康保険事業特別会計	461万円	8億6113万円	賛成全員
介護保険事業特別会計	938万円	10億9461万円	賛成全員
後期高齢者医療特別会計	△19万円	1億1135万円	賛成全員

# 補正予算



町道改良工事など  
土木費4721万円



仁淀川の増水でたびたび冠水する宮地下（ドウバタ）の橋のかさ上げ工事が待たれる現場

移住者住宅改修費等補助金  
150万円



移住者対策に期待される空き家改修費等補助金が新設された

災害復旧費7161万円



12号台風で崩落した災害現場（南片岡橋ノ瀬）

Contents No.110 Nov 2014

- 2 平成26年度補正予算ピックアップ  
明治地区3校本年度閉校
- 3 災害復旧費7161万円など
- 4 平成25年度決算  
一般会計歳出54億6026万円
- 6 決算審議  
財源は有効に使ったか
- 10 議案審議  
こんなことが決まったぜよ
- 10 学校給食共同調理場(仮称)  
建築工事契約
- 12 一般質問5人が問う  
防災・定住・学力向上など
- 17 広域議会（追跡!は休みます）
- 18 連載：移住者訪問

平成25年度一般会計歳出決算54億6026万円

# 町営住宅と町民体育館工事で増額



9月16日に行われた決算審査会の現地調査(フォレストタウンおち)

監査委員意見・要旨 (池裕生・寺村晃幸)

### 一般会計

歳入歳出とも増額

前年度に比べて、歳入が7億5530万円、歳出が7億2238万円の増額になっている。  
町税の収入額は930万円増加し、4億6801万円、徴収率は95.0%。不納欠損額は76万円の増額。  
総体的に見ると、国・県支出金、地方交付税の歳入全体に占める割合が87.2%にも達し、依存財源に大きく頼った財政となっている。  
自主財源の乏しさを克服する、財政の弾力性の維持が望まれる。

### 水道会計

引き続き漏水対策を

総費用を抑えたことで、純利益が前年度より257万円増額した。  
未収金、特別損失は減少傾向にあるが、いつもの徴収努力を期待する。有収水量率が77.3%と前年度より2.8%上昇したが、引き続き漏水対策に努めてもらいたい。

### 下水道会計

水洗化率は平成25年度末で54.0% (前年度53.0%)と微増。  
加入促進を重要課題と位置付けて、引き続き努力を望む。

### 国保会計

税収額は1億2801万円、前年度より75万円減額している。  
不納欠損額は138万円減額しており、徴収率向上の努力が見られる。

### 不納欠損額

予定した収入が滞り、時効成立などで徴収できなくなる金額。

### 有収水量率

水道タンクから配水した水量と実際に使用された水量との比率。

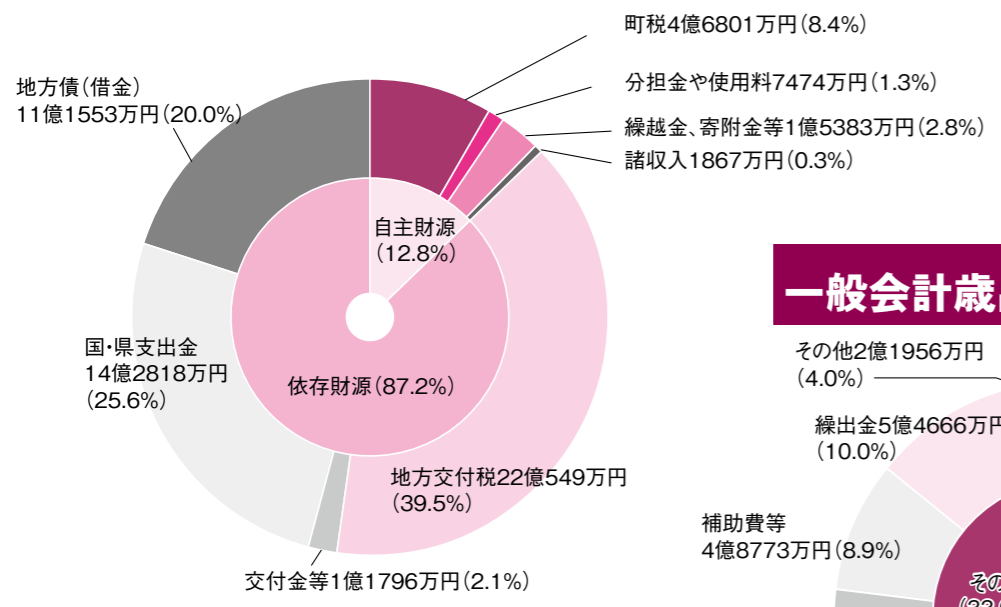
## 平成25年度会計別決算額

会計名	歳入	歳出
一般会計	55億8241万円	54億6026万円
特別会計		
簡易水道	1665万円	1658万円
国民健康保険	8億2959万円	8億4758万円
下水道	1億7357万円	1億7349万円
土地取得	1億2818万円	1億2818万円
蚕糸資料館	19万円	19万円
自然の森博物館	2534万円	2534万円
介護保険	10億8246万円	10億7138万円
後期高齢者	1億828万円	1億688万円
企業会計(水道事業)	5054万円	5338万円
合計	79億9721万円	78億8326万円

# 町民一人あたり89万円の支出

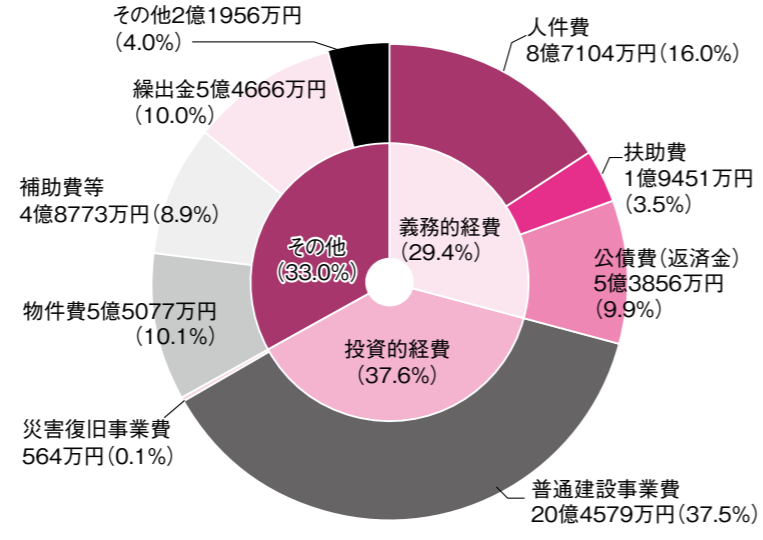
特別会計を合わせると128万円を使いました (人口6133人)

## 一般会計歳入55億8241万円



平成25年度の各会計決算と基金の運用状況は、9月定例会で審議し、全ての会計を全会一致で認定しました。  
【審議内容は6~8面】

## 一般会計歳出54億6026万円



町債(借金) 残額66億74万円 (対前年6億221万円の増)  
基金(預金) 残金22億7536万円 (対前年3億6701万円の増)

## 財政の健全化判断

指標	健全化判断比率	早期健全化基準
実質赤字比率	赤字なし	15.0%
連結実質赤字比率	赤字なし	20.0%
実質公債費比率	6.9%	25.0%
将来負担比率	0.3%	350.0%

平成25年度決算の財政健全化判断と公営企業の経営健全化判断は、いずれも健全化基準を下回っており、赤字や資金不足は生じていない。

## 基準値を下回り『健全』

### 町財政の健康診断

## 経営健全化判断

会計名	資金不足率	健全化基準
水道	不足なし	20.0%
簡易水道	不足なし	20.0%
下水道	不足なし	20.0%

**用語(指標)の説明**

- 実質赤字比率: 普通会計の標準財政規模に対する赤字の割合。
- 連結実質赤字比率: 町の全会計の標準財政規模に対する赤字の割合。
- 実質公債費比率: 町の標準財政規模に占める借入金返済の割合。
- 将来負担比率: 町の標準財政規模に占める将来支払う負債の割合。

35.0%以上で早期健全化計画の策定が義務付けられる。

※標準財政規模: 補助金や借入金を除き、標準的に収入が見込まれる財源の規模。

# 平成25年度決算 財源は有効に使ったか

一般会計

住宅使用料滞納

**小田** 住宅の滞納繰越分で年度末未納者が14人いる。完納させるため、連帯保証人にも話をしたり、悪質な未納者には法的手段をとる考えはあるか。

**谷岡** 総務課補佐 督促状は毎回出しているが、連帯保証人にも一緒に話をしている。悪質な未納者には別の措置を考えなければならぬ。

**高幡** 広域滞納処分等事務

**小田** 25年度中にどのくらいの成果、効果が上がっているか。

**片岡** 税務課長 委託人員が35人で、完納者が5人、滞納額にして2064万円のうち収納額707万円。率で34・3%。

職員を1人派遣していたので職員の学習には十分効果があった。

1000万円

## 森林組合出資金



集積した森林組合の製材工場(仁淀川町葛原)

緊急間伐総合支援事業

**岡林** 場所と面積は。間伐する業者はどこか。

**前田** 産業建設課長 佐之國、南片岡、南ノ川、楠神で合計27・09ヘクタールの間伐と作業道を900メートル開設している。業者は、森林組合といの町のNPO法人みどりの救援隊の2団体である。

## 地域農業振興 事業業務

912万円

**西川** 事業の内容は、雇用に対する助成か。  
**前田** 産業建設課長 この事業は、ヒューマンライフ土佐と岡林農園に対し、新たに人件費を補助したもの。



ヒューマンライフ土佐の主幹作目のミシマサイコも花盛り

**仁淀川** 森林組合出資金

**山橋** 本町が1000万円、3町合計で5000万円出資して、組合の新たな体制づくりに取り組み、県の補助事業を活用して高吾北地域の発展を図ると言って出資したが、現在の経営状態はどうか。

**前田** 産業建設課長 25年度は、産廃事業の廃止、分散していた製材工場を1カ所に集積した。

25年度末は2736万7590円の赤字となっている。次期の経営計画ビジョンの策定をして、経営の合理化に取り組んでいる。

## 起業支援型地域雇用創造事業

831万円

**西川** 起業支援型は、新たな事業を起こしたい人への支援ではないか。

**前田** 産業建設課長 起業後10年以内で、新規就業支援も対象になる。今回は文旦等の農産物の加工、規模拡大、新品開発を支援するもの。

**シルバー人材センター補助金**

**高橋** シルバー人材センター補助金は3町の割合と思うが、職員の給料か。  
**戸田** 住民課補佐 均等割30%、人口割70%で、本町が317万6000円。給料だけでなく事務所経費や消耗品等に充てている。

**予防接種**

**市原** 予防接種の不用額が高額になっているが、それぞれ何人受けたか。  
**戸田** 住民課補佐 高齢者肺炎球菌ワクチン144人、子宮頸がん等ワクチン49人、定期予防接種は11種類あり延べ2118人である。

**弁護士顧問料**

**西川** 顧問弁護士の活動状況は。  
**片岡** 総務課長 高知市の弁護士にお願いしており、金額は月2万5000円、25年度3件の相談をし、解決に至っている。

## 移住支援相談員

189万円

**武智** 相談員の共済費、賃金、旅費などあるが、業務の内容、相談件数、成果は。  
**中内** 企画課長 旅費は東京での移住相談会など。業務は、町のホームページで移住者を紹介し、情報発信している。空き家調査は83件、それをデータ化し管理している。

**学習支援員**

**山橋** 学習支援員292万円の賃金は。  
**高橋** 教育次長 進級時に2クラスから1クラスになる3年生のクラスに入れた支援員の賃金である。

**山橋** 財源は単独か。

**山中** 教育長 県の補助事業を入れている。補助事業の対象が狭まってきて、補助率は2分の1から下がっている状況である。

**山橋** 子ども、生徒のために補助金があってもぜひ続けてほしい。

**小田** 町長 人材育成は学校教育から始まっていると思うので、成果があるものについては単独であるのが財源の許す限りやりたい。



新商品開発や雇用拡大が期待される岡林農園



東京での移住相談会の様子

国保会計

子ども・子育て支援制度  
岡林 子ども・子育て支援制度に係るニーズ調査の内容は。  
高橋教育次長 来年4月から始まる新制度の事業計画のため、例えば保育園の時間を何時から何時までにしてほしいといったような細かい調査で、0歳から小学生の保護者対象にアンケートを実施。

呼び出しでも応じない場合は差し押さえ

岡林 国保税で未納者がいるが内容は。片岡税務課長 生活が苦しくても基本的に均等割平等割があり必ず税がかかる。徴収は個人面談して、払えないのか払う気がないのか二つに分けて進める。

呼び出ししても応じない場合は強制的な差し押さえをする。

介護会計

コスモス荘の費用は

武智 コスモス荘のJAのサービスはこの会計から出ているか。

上田住民課補佐 801万円のうち756万円である。



コスモス荘では毎日きたえんぼう将軍の体操が行われている

武智 介護予防につながる運動、活動が専門的な人から見れば、効果が期待できると思うが、現場でチェックしたことがあるか。

上田住民課補佐 配食サービスは月18人から19人、毎週1回木曜日。高齢者確認サービスは、明治、大桐、野老山、横島地区の75歳以上の一人暮らしで介護保険を利用していない希望者に対し、郵便局の配達員が、配送中に声をかけ、様子を伺っている。

岡林 配食サービスの対象で、何人の方に月何回サービスをしているか。高年齢者生活情報確認サービスの内容は。

水道会計

山橋 有収水量率は昨年より2・8%上がっているが、もっと上げる努力は。

北添環境水道課長 25年度は町内の舗装、側溝工事の関係で何度も水道管の破損があった。3年おきぐらいで漏水調査を行い有収水量を上げていきたい。

博物館会計

岡林 25年度の観覧者数は。

高橋教育次長 25年度は8720人。24年度は夏にデハラ特別展で8月だけで3000人の入館があったため。

今号の表紙



10月8日、宮の前公園に小学4年生が写真会に来ていました。

特別会計

平成26年度補正予算質疑

ポリ塩化ビフェニル廃棄物処理に1512万円

岡林 どのような処理をするのか。

また、どうしてもやらなければならないか。

片岡総務課長 庁舎内の照明をLEDにするため、今の蛍光灯を撤去する際に、安定器やトランスに付いている有害なPCBを専門業者に委託して処分するもの。

1キログラム当たり3万2000円かかる。高知県では27年1月までに処理しなければならない。

観光拠点施設整備事前調査80万円

小田 どういったものを計画するのか。

中内企画課長 体験型観光のカヌー、ラフトコースの見直し、観光拠点施設の場所や冬場のメニューについても事前調査する。



観光拠点施設の整備が急がれる

こうち農業確立総合支援事業補助金504万円

武智 こうち農業確立総合支援事業補助金の目的と対象者は。

前田産業建設課長 ミツバの下葉取り調整機と計量結束機の2台。補助金は、サンワファーム農業法人合同会社。



機械の導入が図られるサンワファーム

町PR番組制作に99万円

片岡 どういうPRをするのか。

中内企画課長 土佐のむかし話の番組の中で、町営住宅フォレストタウンおちの入居者募集のPR。

11月30日(日)午前7時15分からRKC高知放送で4週連続放送される。

いなかパイプ負担金12万円

武智 いなかパイプ負担金の説明を。

中内企画課長 四万十町の一般社団法人で、町が会員となり田舎と都会をつなげる事業や1次産業の人材育成に取り組むための負担金。



工事が進むフォレストタウンおち

### 条例制定

#### ●地域優良賃貸住宅管理条例

現在建設中の林屋敷団地(仮称)の名称を「フォレストタウンおち」とし、入居者の募集・選考・入居手続・家賃等の設置及び管理について定めるもの。

#### 手引書の作成は

#### ●武智 入居条件・選考・決定で、手引書や規則などがあれば公平性・透明性が保たれると思うが作る考えは。

片岡総務課長 現在作成中で、指摘のあったことは規則でうたうようにする。

《賛成・全員》

#### ●いじめ防止対策推進法施行条例

いじめ防止のため、関係機関・団体といじめ問題対策連絡協議会を設置する。

また、いじめにより重大事態に至る要因となつた行為について、調査をするための委員会を設置するもの。

《賛成・全員》

#### ●お試し住宅条例

本町の人口減少に歯止めをかけるため、町外からの移住者を増加させることを目的として、お試し住宅の設置及び管理について定めるもの。

《賛成・全員》

### 条例の一部改正

#### ●町立小学校設置

黒石小学校・片岡小学校及び明治中学校を27年3月31日付けで廃止するもの。

《賛成・全員》

### 財産の貸付

高吾北広域町村事務組合 障害者相談支援事業所 事務所として、町民会館2階研修室を無償で貸し付けするもの。

《承認・全員》



町民会館に開設された障害者相談支援事業所

### 工事請負契約

#### ●本村簡易水道(宮地下地区)施設整備事業

契約金額 1億514万5560円  
契約相手 (株)日東水道 尾立憲治  
工事内容 管路延長1610m(管径50~100mm)  
取水池、ろ過池、配水池、ポンプ操作室、滅菌機室、消火栓3カ所  
《賛成・全員》



水道工事が始まった宮地下地区

#### ●学校給食共同調理場(仮称)建築工事

契約金額 2億7306万7200円  
契約相手 (株)響建設 丁野敏明  
工事内容 鉄骨造平屋建400.0㎡  
太陽光発電設備21kw  
予定食数 最大500食  
小中学校は渡り廊下、幼稚園は運搬車で配膳調理はガスと電気で行う  
《賛成・全員》



平成27年3月末完成を予定している(起工式10月16日)

### 意見書

9月定例会に提出された6件全てを可決し、関係機関に提出しました。

#### 手話言語法制定を求める

提出者 山橋正男議員

手話が音声言語と対等な言葉であることを国民に広め、聞こえない子どもが手話を身につけ、手話で学べ、自由に手話が使え、更には手話を言語として普及、研究することのできる環境整備を目的とした「手話言語法(仮称)」を早期に制定するよう強く要望する。

《賛成・全員》

提出先 衆参両院議長、内閣総理大臣、他2大臣

#### 「森林・林業基本計画」の推進

提出者 寺村晃幸議員

世界有数の森林国である我が国は、その大部分が中山間地域に位置していることから、林業の振興を図ること、人口流出防止のダムの効果を果たすことになるし、そのことが地方再生の原点となる。

国の「森林・林業基本計画」の推進と平成27年度予算の確保を強く要望する。

《賛成・全員》

提出先 衆参両院議長、内閣総理大臣、他9大臣

#### 地域林業・地域振興の確立に向けた「山村振興法」の延長と施策の拡充

提出者 寺村晃幸議員

山村の経済力と住民の福祉の向上を図り、地域格差の是正と国民経済の発展目的に、昭和40年「山村振興法」が制定されたが、山村を取り巻く環境は、依然として厳しい状況にある。

この法は平成27年3月末に終了するため、山村地域の振興や地域林業の確立、そして就業機会の拡大や雇用の確保、若者定住等、今後一層の施策

《賛成・全員》

提出先 衆参両院議長、内閣総理大臣、他3大臣

#### 軽度外傷性脳損傷に関わる周知と労災認定基準の改正

提出者 武智龍議員

交通事故や高所からの転落、転倒、スポーツ外傷などにより、頭部に衝撃を受け、発症する軽度外傷性脳損傷(MTBI)は、MRIなどの画像検査では異常が見つかりにくく、労災にならないケースが多い。

画像に代わる病気の判定方法の導入や、労災認定基準を改正すること。また、MTBIについて医療機関をはじめ国民、教育機関への啓発・周知を図るよう要請する。

《賛成・全員》

提出先 衆参両院議長、内閣総理大臣、他3大臣

#### 2015年10月の消費税率10%への再引き上げ中止を求める

提出者 山橋正男議員

政府は、4月の消費税率8%への増税に続き、2015年10月から税率10%への再引き上げを今年中に決断するとしているが、4~6月期のGDPは大幅減となった。

県民のくらしの実態は、年金の連続削減、医療費や社会保険料の負担増、もともと低い賃金の連続的な低下、物価高、その上の8%増税で我慢の限界を超えており、これ以上の痛みを耐えられない状況になく、10%への増税を中止することを強く要請する。

《賛成・多数》

提出先 内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣

#### 慎重な参議院選挙制度改革を求める

提出者 西川晃議員

平成22年7月11日に行われた参議院選挙区選挙に係る一票の格差に対して、最高裁判所は違憲状態の判決を下した。国会に設置された選挙制度協議会では、有権者の少ない選挙区で隣接府県と合区させる案が示された。

地方自治体の実情や歴史的・文化的・地理的條件を考慮すれば、都道府県を基本とすること以上に意味のある新たな選挙区単位を見出すことは困難であり、参議院選挙制度改革は慎重に議論を進めることを要請する。

《賛成・全員》

提出先 衆参両院議長

# 町政を問う

一般質問



寺村晃幸 議員

**小田町長** 来年度、産業課と建設課に分けたいと考えている。国、県からの仕事の移譲、あるいは住民サービスを向上させるために仕事量も増えている。小回りが利いて、より専門性、深い仕事ができるよう、元のように戻すのが最善ではないかと思う。

## 課の再編

### 産業建設課を分離できないか

産業課と建設課に分ける 町長

**問** 行政改革により産業建設課となったが、本町の基幹産業である農業をさらに発展させるには、産業課と建設課の2つの課に分離できないか。



基幹産業の農業より層の発展が望まれる(今成)



公共事業の確保が雇用の増加につながる

### 取り組みを強化する

**小田町長** 人材育成は非常に大事だ。中山間地域の農業は、地理的条件、高齢化など非常に厳しい時である。産業課で農業の専門性を持つことが必要と思う。今年度6次産業化をテーマにした研修に職員2人を行かしている。

これからも取り組みを強化していきたいと考えている。助言もいただきたい。

### 6次産業化

第1次産業である農林水産業が、農林水産物の生産だけにとまらず、それを原材料とした加工食品の製造・販売や観光農園のような地域資源を生かしたサービスなど、第2次産業や第3次産業にまで踏み込むこと。今村奈良臣・東京大学名誉教授が提唱した。

### 人材育成が急務

**問** 産業課ができた場合、農業に精通した人材育成が求められる。人材育成により町が発展し、移住、定住促進にも必ずつながると思うが、精力的に取り組んでみてはどうか。

# 一般質問

- 12ページ・寺村晃幸
  - ①産業建設課の分離を
- 13ページ・市原静子
  - ①避難場所を町民全員が知っているか
  - ②女性職員の声が町の施策に反映されているか
  - ③学童保育の拡充を
  - ④郵便局での納税を
  - ⑤指定ゴミ袋を黄色に
- 14ページ・小田範博
  - ①町長交際費は公正に使われているか
- 15ページ・高橋丈一
  - ①学力向上の継続は
  - ②住民は危険区域を知っているか
  - ③避難場所は安全か
- 16ページ・武智 龍
  - ①人口減対策の具体策を示せ
  - ②1人でも使える補助制度を
  - ③町民バス待合所設置を
  - ④限界集落の将来は

## 防災対策

### 避難場所は町民全員知っているか

十分検討し行きわたるよう徹底する 町長



市原静子 議員

**問** 越知町防災会議に女性2人を登用しているが、会議はもたれているのか、女性の意見が反映されているのか。

また、一時避難所と大規模な地震、火災、風水害等の避難場所は、町民全員が知っているのか。

**小田町長** これまで2回開催している。避難場所の周知は町民全員となると不十分だと思っている。区長、民生委員の方々、担当課とも十分検討し全員に行きわたるよう徹底したい。

**片岡総務課長** 避難場所の運営や生活に対する支援、プライバシーの保護の観点や男女のニーズの違いを配慮して、今以上に女性の視点から要望が反映されるようにしたい。町ホームページでは確認できるが、インターネット環境が整っていない人は見られないので、広報や自主防災訓練の中で周知していく。

## 女性職員の声

### 町の施策に反映されているか

優れた人材を見つけない 町長



女性職員を配置し、細やかな対応や女性の観点で業務に生かしている(企画課)

**問** 少子高齢化、人口減の時代には、特に女性からの声が重視されている。本町では、女性職員の声が施策に生かされているか。

**小田町長** 女性の視点がとても重要と考えている。移住、定住対策に女性職員を配置して、細やかな対応や女性の観点を業

務に生かしている。今後は、管理職の登用も男女に関係なく積極性や資質などで判断し優れた人材を見つけない。

職員にはそれぞれのポジション、コミュニケーションの中で積極的に自分を生かしてもらいたい。

## 学童保育

**問** 学童保育は長時間親の目から離れている夏休みや冬休みの期間、6年生まで実施できないか。冬休みから実施

**山中教育長** 現状では4年生までが対象であり、利用者は1年生から4年生まで46人で、夏休み期間中は53人である。児童福祉法が改正され全ての小学生が対象となる。今年の冬休みから対象を6年生まで広げる。



6年生まで拡充する学童保育

## その他の質問

### 公金納税

**問** 公金納税は郵便局でも支払いができないか。

**答** 税務課では、便利で確実な「口座振替」をお願いしている。税は来年度から郵便局で支払いができるようにしたい。

### 指定ゴミ袋

**問** 資源、不燃ゴミ袋に取っ手を付けて、生ゴミの袋を黄色にできないか。

**答** 取っ手の付いた袋の販売は、平成28年頃になる。黄色の袋は検討する。



小田 範博 議員

### 町長交際費

## 公正に使われているか

### 住民との懇親も大事 町長

**問** 町長交際費は、公正に使われているか、過去2年間で町長に就任した4月以降にどういった項目にいくら使ったか。

**小田町長** 24年度は132件で79万6425円、25年度は152件で99万7847円、26年度は74件で43万4429円となっている。

その他は、県人会や友交町との交流の経費である。  
(内訳は、下表のとおり、26年度は8月31日まで)

(単位：円)

年度	酒等		会費・懇親会費		土産等		香典		その他	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
26	18	73,857	46	210,600	1	4,960	2	10,000	7	135,012
25	42	173,918	88	452,350	3	13,500	8	65,000	11	293,079
24	41	159,095	76	329,500	4	70,410	2	10,000	9	227,420

### 町内か町外か

**問** 食糧費、香典について過去2年間で今年度の4月以降の町内町外それぞれの件数を聞く。

**小田町長** 24年度の食糧費は全体で117件、町内83件町外34件。25年度は全体で136件、町内96件町外40件。26年度は全体で68件、町内46件町外22件。

**香典はすべて町内**

香典はすべて町内。  
(食糧費は酒等と会費・懇親会費の合計、25・26年度は、その他の一部が件数に含まれている)



友好町との交流事業にも使われる

### 今後改善は

**問** 過去に懇親会費を町長は交際費で支出し職員は自腹といったケースがあったと思うが、現在も続いているら今後改める考えはないか。

### 検討課題

**小田町長** 職員が総会や研修会に出席後の懇親会費を予算の許す範囲で出しているが、個人負担をすることもある。

住民等との懇親は大事と思うので、今後の検討課題としたい。

### 町代表の考えは

**問** 葬儀に町長として参列し香典をささげなければならぬ理由は。

**小田町長** 現職の町三役、議員、職員の死亡。元職の三役、議長、副議長経験者本人の死亡時に公金を出す場合は、内規に基づき支出している。個人的な付き合いがある場合は、自費で出している。

### 内規に基づき支出

### 町長交際費

地方自治法に規定された歳出予算区分のひとつで、地方自治体の円滑な運営を図ることを目的に、町長等が町を代表して外部の個人または団体との交際に要する経費。その支出にあたっては、社会通念上妥当な範囲において適正な執行に努めなければならない。

### 全国学力テスト

## 学力向上の継続は

### 昨年以上の結果 教育長

**問** 本町は昨年の全国学力テストの正答率が小・中ともに高い位置にいたが、今年の結果はどうか。

**山中教育長** 本年の学力テストは小・中ともにすべてが県平均、全国平均を超え昨年よりも高い結果になっている。

小学校は「国語A・B、算数A・B」4つの合計は秋田県に次いで2位の位置にいる。

中学校は「国語A・B、数学A・B」4つの合計は福井県、秋田県に次いで3位の位置にいる。

これは授業改善や学力向上に対する先生方の取り組みの成果だと思われ、さらに学力が定着できるように努める。



高橋 文一 議員



教師とALTによる中学3年生の英語の授業

### 災害対策と避難等

## 住民は危険区域を知っているか

### 特に危険箇所があれば指定する 総務課長

**片岡総務課長** 土砂災害危険区域の指定は、まだしていない。

現状の危険箇所は23箇所あり、今後調査をして特に危険箇所があれば指定する。  
住民には県が策定している、警戒区域のマップを広報で周知する。

**前田産業建設課長** 浸水地域は町として指定をしていない。

土砂災害危険箇所は、栗ノ木、谷ノ内、楠神、柚ノ木、稲村地区がある。栗ノ木地区は、急傾斜地崩壊対策事業が本年度完了予定。  
27年度から横島本村地区の事業化に向けて現在申請中である。



台風11号の豪雨により山腹崩壊した南ノ川地区

### 避難場所

**問** 避難場所は安全なのか。

また、ハザードマップは作成しているか。

**防災マップは再検討**

**片岡総務課長** 現在の避難場所は公共施設や旧小学校などの強固な施設は安全だが、一時避難の集会所など59施設は十分とはいえない。  
防災マップは古くなったので再度考える。





武智龍 議員

### 人口減少対策

## 具体策を示せ

現役世代の人口増重点に 町長

**問** 町長は選挙で「みんなあ越知に住もうや」と訴えていたが、人口減少対策の位置づけは、具体策を示せ。

**小田町長** 現役世代の人口増を重点に、空き家調査と登録、移住お試し住宅開設、お試しツアー開催、空き店舗活用、田舎ビジネス体験などを企画している。

**問** 定住促進で重要な仕事の確保や民宿・農産物加工など起業家育成支援制度は作らないか。

**中内企画課長** 新規就農を支援する。

**國貞副町長** 公共事業を確保して、雇用の継続と新規雇用の増加へつなげたい。

町独自の農地バンクをつくり、新規就農者などに農地を紹介したい。

**小田町長** 起業家育成の支援制度は、効果が出ると思うので今後検討したい。

### 災害対策

1人でも使える補助制度

検討したい 町長

**問** 台風災害で国などの補助制度が使えない災害はどれだけあったか。それにはどう対応するのか。

**前田産業建設課長** 制度に乗らないものは67件ある。

受益者が2人以上の場合、町単独の補助金で対応するが個人的なものは対象外だ。

**問** 受益者1人の場合は、自己負担が大きい。納税者としての公平性や転出防止、健全な農地や農道が集落維持に重要であるなどを考慮し、1人でも制度対象となるよう改善すべきだ。

**小田町長** 転出までは考えてなかったが、高齢になり個人での復旧は困難な事例も増えると思うので、検討したい。

### 町民バス

バス停に待合所設置を

**問** 町内のバス停は80箇所以上あるが、建物がないところが多く、雨天時等は待つのが大変だ。利用者の中には体の弱い人が多く、今後免許証返納者なども増えるが、待合所は造れないか。

検討する

**小田町長** 運行ルートなどどこでも乗降できるが、お年寄りは早めに行って待つことが多いし、コミュニティ形成の場にもなるので、快適に利用できるよう検討する。

**問** 無料運行はいつまで続けるのか。

**小田町長** 今後は有料化する必要があるが、議会終了後に地域公共交通会議の設置準備に入る。

### その他の質問

限界集落の将来

**問** 山間部では、数年以内に集落として維持できなくなる「限界集落」があり、今後も増加する。将来構想は。

県の「集落活動センター」を核とした集落維持の仕組みづくりは、地域の課題解決に有効だ。取り入れる考えは。

意見交換会で検討

**答** 私にはこうしたいという案はないが、集落機能を維持することは検討したい。

**答** 集落活動センターありきではなく、住民との意見交換会の中で一緒に検討したい。

## 広域議会

第3回定例会が、9月4日に開かれ平成26年度一般会計補正予算など4件を可決。平成25年度各会計決算を認定した。

### 平成25年度高吾北広域町村事務組合決算

区分	歳入	歳出	
一般会計	9億9033万円	9億2199万円	
特別会計	特別養護老人ホーム	14億338万円	12億4463万円
	養護老人ホーム	1億3593万円	1億1376万円
	障害者支援施設	2億1904万円	1億4908万円
	ふるさと市町村圏	3023万円	1906万円
合計	27億7891万円	24億4852万円	

広域議会には、越知町から齋藤政広議長、片岡清則議員、西川晃議員の3人が出席している。

### 条例の一部改正

●火災予防条例

消防法施行令が改正され、対象火気器具等を多数の者が集合する催しに際して使用する場合には、消火器の準備をした上で使用することなど。その他準則に沿った一部改正を行うもの。

《賛成・全員》

### 一般会計補正

●標準報酬制に移行

5020万円を追加し、総額13億1290万円にするもの。

地方公務員共済制度における掛金・負担金等の算定基礎が、給料を基準に計算する「手当率制」から厚生年金が採用している「標準報酬制」に移行することになり、給与システム改修委託費83万円、予備費4936万円を補正する。

《賛成・全員》

### 人事

●議長選挙

●岡田良成氏(仁淀川町) 《指名推薦》

●副議長選挙

●藤原健祐氏(佐川町) 《議長指名》

●監査委員の選任

●永田耕朗氏(佐川町) 《同意・全員》

### 特別会計補正

●障害者支援施設(湖水園)

6755万円を追加し、総額2億4752万円にするもの。

ペレットボイラーの灌水パイプの漏れ修理とソーラー蓄熱タンクの修繕費用57万円、予備費6697万円を補正する。

《賛成・全員》

### 諸般報告

●特養の待機者179人

特養4施設の待機者数を本年6月1日時点で調査した。

亡くなった方、他の施設入所や入院など電話での聞き取り等を行い、佐川町82人、越知町47人、仁淀川町31人、3町以外19人の計179人。

●消防・救急無線のデジタル化

工事の進捗状況は、桜地区(仁淀川町)山上に建設している無線中継所は、敷地造成と基礎工事も終わり、9月末には無線タワーや局舎の設置を予定している。

●消防本部も警戒体制

8月の台風12号と11号により、3町において災害対策本部の設置と全世帯に対する避難勧告を発令したことを受け、消防本部も幹部職員及び非番職員を招集し、増員対応による警戒体制を取った。



緊急時は県のドクターヘリを要請

### 一般質問

片岡智準氏(仁淀川町)

消防の体制と問題点

**問** 消防隊員不足は予算措置ができないためか、応募者が少ないのか。

財政的に厳しい

松田消防長 消防車両は大型のタンク車を装備するなど基準どおり配備できているが、人員配置は地域の実情や出勤頻度などを勘案して、消防隊と救助隊は兼務とし、2車両を基準の5人に対し3人で運用している。

厳しい財政で増員は困難だが、限られた人員を有効活用し消防団員との連携強化により対応する。

3町で検討していく  
大石組合長 応募者は毎回多数いる。

消防力の確保等は大変重要。増員による人件費の増額は財政上の問題となっているが、今後3町で十分検討していく。